



千葉市立誉田中学校

誉田のかぜ

学校だよりは HP にも掲載します

第 1 号
令和 7 年 4 月 9 日 発行
千葉市立誉田中学校
TEL 291-0012

新年度のスタートにあたり

校長 宮本 裕子

春のやわらかな日差しとともに、4 月 7 日（月）に始業式を、4 月 8 日（火）に第 79 回の入学式を挙行了しました。225 名の新入生を迎え、全校生徒 592 名で、令和 7 年度がスタートです。教職員一同、今年度も一人一人に丁寧に向き合い、安心して過ごせる学びの場づくりに取り組んでまいります。

年度のはじまりは、希望と同時に、不安や戸惑いも入り混じる時期です。だからこそ、子どもたちの小さな変化にも丁寧に目を向け、寄り添いながら日々を積み重ねていくことが大切だと考えています。一人一人が自分らしく輝き、学び合い、支え合える学校づくりに保護者の皆様とともに取り組んでまいりたいと思っております。本年度もよろしくお願いします。

令和 7 年度 前期始業式 校長講話「三つの心」

本日は、新しいスタートにあたって、皆さんに「三つの心」をお伝えしたいと思います。これは、これからの学校生活をより豊かに、より意味あるものにしていくための大切な視点ではないかと考えます。

一つ目は、「チャレンジする心」です。変化の多い時代においては、失敗を恐れずに一歩を踏み出す勇気が、何よりも大切になります。新しいことに挑戦する中でしか、真の成長は得られません。結果が思いどおりでなかったとしても、その過程で得た経験は、必ず皆さんの力になります。

二つ目は、「気づく心」です。これは、自分の外側と内側、両方に目を向ける力です。友人のさりげない変化や、誰かの努力、自分自身の感情の揺れに気づくこと。そうした繊細な感受性が、人と人との信頼を育てます。目に見えるものだけでなく、見えにくいものにも心を寄せられる人になってほしいと願っています。

三つ目は、「対話を大切に作る心」です。対話とは、単なる会話ではありません。相手の言葉に真摯に耳を傾け、自分の考えを丁寧に伝え合うことです。異なる意見や価値観に触れたときこそ、対話の力が問われます。相手を理解しようとする姿勢、そして理解してもらう努力。それが、よりよい人間関係、ひいてはよりよい社会を築いていく礎となります。

「チャレンジする心」「気づく心」「対話を大切に作る心」。この三つの心を胸に、一日一日を丁寧に積み重ねていってください。

そして、どうか皆さん一人ひとりが、学習に真摯に向き合い、学校行事には心を込めて取り組み、部活動では仲間とともに高みを目指し、そして学校の外でも、自らの可能性を信じて歩んでほしいと思います。そうした日々の積み重ねの中にこそ、本当の成長があります。努力がすぐに形にならなくても、悩みや迷いがあっても、それらすべてが、未来の自分をつくる糧となります。

挑むことを恐れず、心を澄ませ、他者とつながることを大切にしながら、今年度の歩みを一歩ずつ、確かなものにしていってください。

この一年が、皆さんにとって、自分自身を超えていく一年となることを、心から願っています。

◆各学年代表生徒の言葉◆

新年度を迎えるにあたり、4月7日（月）始業式において、2、3年の代表生徒が抱負を語りました。

私たち新二年生は、今日から新たなクラスでの学校生活がスタートします。皆さんはどのような気持ちで春休みを過ごしたでしょうか。私は一年前の入学式や仲間と過ごした一年間を振り返っていました。はじめてのことばかりで失敗や反省もありました。しかし、行事や部活動などで仲間との楽しい思い出がたくさんあり、充実した1年を過ごせたと思います。今日から、新しいクラスで、不安を感じている人もいるかもしれません。私もそう感じます。でも一人一人が思いやりをもち、協力しながら過ごすことで、また一年後に振り返ったときには、「楽しかった。」と思えるのではないのでしょうか。

そして、二年生になり、今日から「先輩」と呼ばれる立場となります。これまで先輩方がしてくださったように、一年生の手本となる行動を心がけたいと思います。

最後に、一日一日を大切に過ごし、何事にも前向きに頑張りたいと思います。

2 学年代表生徒

春休みが明け、学年が一つ上がり、新学期のスタートとなりました。このスタートで大切なことは、目標をたくさん立てることだと私は考えます。なぜなら、目標を立てて一つずつクリアしていくことで、望んだ方向に確実に近づけるからです。

私は、幼稚園のころ、「兄と同じくらいサッカーがうまくなりたい」と、練習を始めました。当時は、ただ目の前のボールを追いかけることしかできず、リフティングも苦手でした。そんな私に、両親は「少しずつうまくなればいい」と、小さな目標を立てて、私の練習に協力してくれました。そのおかげで、バスやドリブルもできるようになり、リフティングの回数も、日に日に増えていきました。その時、私は、成長が目に見えてわかり、大きな目標に近づいていると感じました。

私達三年生は、昨年、自然教室や3年生を送る会等の行事や部活動、委員会活動や日頃の仲間との時間を通し、団結力を高め、お互いの良さに気づくことができました。そして、今年、学校の顔として後輩の手本となり、学校を前に進めていく立場となりました。この一年で、個人としても、学年としても、さらに成長できるように、全員が様々な面で、目標を立てて、一步一步前に進んでいきましょう。そして、悔いの残らない、中学校生活三年間の、また義務教育六年間の見せられる一年にしましょう。

3 学年代表生徒

4月特別日課中の予定

日	曜	行事・予定
9	水	学年内日課 発育測定（A組） 自転車集会 ※ お弁当持参
10	木	学年内日課 発育測定（2年・3年） 給食開始 避難訓練 第1回専門委員会
11	金	学年内日課 発育測定（1年）
14	月	学年内日課
15	火	学年内日課 個人写真撮影 部活動休業日 市教研

※ 16日（水）より、（仮）時間割にて、通常授業が開始となります。